

○ TPP交渉にあたっては、政府をあげて毎回100人規模の交渉団を派遣し、国内生産に影響が出ないよう品目ごとに中身を一つ一つ精査し、多くの関税撤廃の例外等を獲得しましたが、合意による不安や懸念に応えるため、万全の対策を講じる決意です。

※ 黒塗りでない交渉経過の紙を出せ、手つかずの品目はないので「守れた聖域ゼロ」という批判は、相手国との信頼関係を考慮しない外交の常識に反するものであるほか、合意内容の詳細を分析、評価しようともしない、批判ありきの短絡的な議論です。

○ そのため、大筋合意後は、政府対策本部（本部長安倍総理）と連携していち早く国内対策の検討に着手し、現場の不安に応え、農家の経営をしっかりと守り、さらに発展させる第一弾の方策を決定し、実行しています。

※ 例えば、コメについては、備蓄運営の見直しにより影響を遮断します。牛・豚肉のマルキンの法制化・拡充により安心して畜産経営が行えるようにします。産地パワーアップ事業の新設と畜産クラスターの拡充などにより、経営発展を図ります。

○ さらに、中長期的な農業の体質強化策について、本年秋を目途に包括的な対策（12の継続検討項目）を詰めていくほか、交渉で獲得した措置とあわせ、基金による十分な予算確保など、意欲ある生産者が安心して経営に取り組みよう、引き続き万全の対策を講じてまいります。

○ TPPについては、未だ国民や生産者の皆様から不安や懸念の声があることを真摯に受け止め、合意内容の正確かつ丁寧な説明と情報発信に努めるとともに、日本の食の潜在力や安定供給の重要性などに対する理解と信頼を高めてまいります。

1

—重要5品目の交渉結果—

重要5品目594タリフライン（関税上の品目の細分類）のうち、424タリフラインについて関税撤廃の例外を勝ち取りました。また、撤廃した170タリフラインについては、以下の基準でタリフラインごとに一つ一つ精査し、実質的に影響がないものに限っています。

①カッサバ芋など、輸入実績が少ないもの、②牛タン・米のピーフンなど、国産農産品との代替性が低いもの、③繁殖用母豚など、撤廃が生産者のメリットとなるもの

—外交交渉の交渉過程の取扱い—

外交交渉の過程を明らかにしないのは世界の常識。相手の主張を明らかにしてしまえば、信頼を損ないます。我が方の主張を明らかにすれば、外交の手の内を晒すこととなります。この点については、これまでの政権においても同じ姿勢でした。

—農林水産物の国内生産と輸出力の強化等—

TPPの下で、国内対策を着実に実行し、国内生産が維持されなければなりません。今後、日本の人口は減少します。このため、TPP諸国全体で8億人の市場に目を向け、政府全体で取り組んでいる輸出力の強化や成長産業化などを進めることで、農業・農村の所得増大を図るチャンスにしなければいけません。

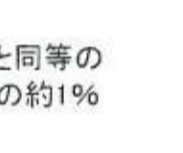
2

米（コメ）

➤ コメは、341円/kg（1俵で約2万円）の高関税には手をつけず維持しました。

➤ 国家貿易の下で新たに米国、豪州に、国内の卸業者と輸入業者が事前にベアを組んで必要な輸入量を申し込むSBS方式による国別枠（合計で13年目以降最大7.84万トンの生産量の約1%）が設定されますが、これは、単なる入札枠であって、輸入は義務ではありません。

◇ SBS（売買同時契約）方式による入札枠では、国内の卸業者が輸入業者と契約してはじめて輸入されますので、国内の需要がなければ輸入されません。最近3年の実績は、10万トンの入札枠に対して25年6万トンの、26年1万トンの、27年3万トンの実績です。



➤ この国別枠で輸入される数量に相当する国産米を政府が備蓄米として買入れ入れます。これにより、主食用米の需給・価格への影響を遮断します。

➤ 輸入米は安価な国産米が少ない場合に補充的に使われており、国産業務用米と同等の価格水準となっているので、安い米が入ってくるわけではありません。数量も国産の約1%と限られていることから、国産米価格への影響はありません。

◇ ほ場の大区画化や機械のリース導入（産地パワーアップ事業（27補正505億円・基金化））を創設するなど、国内対策を着実に実行します。

麦（小麦・大麦）



➤ 麦は、高関税と国家貿易を維持しました。国家貿易の下では、国産麦では需要を満たせない量を輸入しますので、国産麦の生産への影響はありません。

➤ 国家貿易の売買差益（マークアップ）は減少しますが、引き続き、経営所得安定対策の中で、生産コストと販売価格の差額を交付することで確実に再生産を確保できるよう、必要な財源を確保する旨政策大綱に掲げています。

◇ また、産地パワーアップ事業（27補正505億円・基金化）を創設するなど、国内対策を着実に実行します。

甘味資源作物

➤ 砂糖、でん粉ともに、輸入品と国産品の価格調整を行う糖価調整制度（調整金の徴収）を守りました。したがって、国内生産への影響はありません。

➤ これまで糖価調整制度の対象外であったココア粉などの加糖調製品からも調整金を徴収し、引き続き、経営安定対策により再生産を確保します。

◇ また、産地パワーアップ事業（27補正505億円・基金化）を創設するなど、国内対策を着実に実行します。



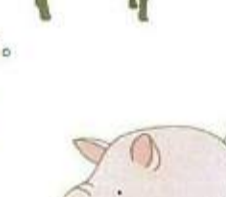
3

牛肉・豚肉

➤ 世界の人口は今後も大幅に増加する見通しである中で、特に食肉は、アジアの需要が急激に伸び、買い付け競争が激化しています。

そのような中で、交渉では関税撤廃を阻止しました。

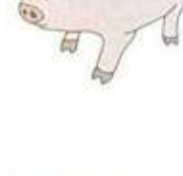
◇ 豚肉は、差額関税制度・分岐点価格を維持しました。今後も、安い部位と高い部位の組み合わせによる輸入が主流となり、安い部位の大量輸入を阻止します。



➤ 輸入牛肉・豚肉の価格は関税水準だけでなく、海外の需要にも左右されます。日豪EPAが発効した後の豪州産牛肉は、米国産牛肉より10%前後関税が下がっています。また、豪州産牛肉の輸入量は、発効前3年の平均に比べて2%減少しています。また、輸入単価は40%上昇しています（H27年）。

➤ その背景として、中国の輸入が増えていることがあげられます。2004年（H16）からの10年で、牛肉輸入量は約80倍増加し、豚肉は約10万トンの輸出国から約80万トンの輸入国となりました。今後10年間でさらに中国の輸入が増加する見通しです。

➤ 加えて、牛・豚マルキンの強化（法制化・補助の拡充（8割→9割、国3：生産者1））、畜産クラスター事業の強化（27補正610億円・基金化）など、特に手厚い国内対策を実行します。



乳製品

➤ バター・脱脂粉乳の国家貿易制度と高関税を維持しました。

➤ 新たに設定された関税割当（6年目：7万トンは、近年の追加輸入（16～19万トンの範囲内にすぎません））したがって、牛乳乳製品全体の国内需給への悪影響を阻止しました。

◇ 国内で需要が増加しているカンパベル・モッツァレラ・プロセスチーズの関税も維持しました。

➤ 加えて、加工原料乳生産者補給金制度の強化（来年度から生クリームなどが対象に追加）、畜産クラスター事業の強化（27補正610億円・基金化）など、手厚い国内対策を実行します。



野菜・果樹

➤ 品質、鮮度、国産への安心感、用途や出荷時期の棲み分け等により、輸入品と差別化されています。

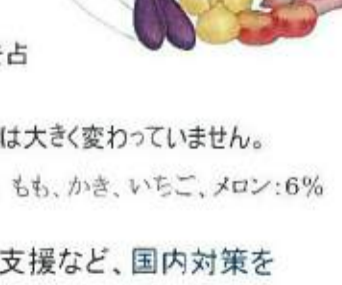
また、輸入の多くは中国などのTPP非参加国です。

◇ 例えば、国産ぶどうは、輸入ぶどうの3倍以上の価格ですが、国内シェアの9割を占めています。

◇ 最近の大きな為替変動（4割程度：1ドル80円→120円）の中でも国内生産量は大きく変わっていません。

【現行税率】キャベツ：きゅうり、だいこん、トマト、なす、にんじん等：3% なし：4、8% もも、かき、いちご、メロン：6%

➤ 産地パワーアップ事業（27補正505億円・基金化）の創設による改植支援など、国内対策を着実に実行します。



4

地域特産物（こんにゃく、小豆・いんげん、落花生、茶）

➤ これまでも差別化が図られており、一つ一つの品目実態を見て対応しました。

◇ こんにゃくも、関税割当を維持しました。TPP参加国からの輸入もほとんどありません。

◇ 小豆・いんげんは、関税割当を維持しました。国内生産で不足する分を輸入する仕組みは変わりません。

◇ 国産の落花生は大粒、殻付きで供給されています。外国産と比べて価格が4～7倍とすでに差別化されています。

◇ 茶は、TPP参加国からの輸入は600万トン程度であり、国内生産量の1%未満です。



➤ 産地パワーアップ事業（27補正505億円・基金化）を創設するなど、国内対策を着実に実行します。

林産物（合板等）



➤ 現在の関税率が10%以下となっている中で、合板、製材について、輸入額が多い国、又は輸入額の伸びが著しい国に対して長期間の関税撤廃期間や、セーフガードを措置（カナダ、マレーシアに対して関税撤廃後も有効）しました。

➤ 合板・製材生産性強化対策（27補正290億円・基金化）を創設し、木材加工施設の整備、間伐・路網整備等を支援するなど、国内対策を着実に実行します。

水産物

➤ 海藻類について15%の関税削減（のり：1枚1.5円→1.28円 など）にとどめたことに加え、重要品目のあじ、さば等について長期間の関税撤廃期間を設定しました。漁業補助金も引き続き交付可能です。

➤ 水産業競争力強化緊急事業（27補正225億円・基金化）を創設し、広域浜プランに基づき、漁業用機器の導入、リース方式による漁船の導入等を支援するなど、国内対策を着実に実行します。

